



トピックス



全がいアーケード 盛岡にもオープン

近代的な商店街づくりを進めてきた盛岡市の肴町商店街に県内では2番目の全がいアーケードが完成し、10月6日「ホットライン・サカナチョウ」としてオープンした。

明るく、ゆったりしたショッピング街に生まれ変わった肴町の全がいアーケードは全長365mで、昨年夏に完成している北上市諏訪町の全がいアーケードの2倍強の規模。

透明の屋根からは明るい日差しが差し込み、開閉式のアーケードのため、好天の日には直射日光もとり込める。舗道もカラー舗装となって、商店街の明るさを一層増している。

天候に左右されないこの全がいアーケードでは、快適なショッピングを楽しむことができる。

声援を受けながら 老人スポーツ大会

日中の最高気温が19.4度という肌寒さを感じさせた10月2日、盛岡市の県営運動公園陸上競技場で、県内各地から5,000人が参加して第12回県老人スポーツ大会が開かれた。

60歳から今年の最高齢79歳の八重樫フキさん（岩泉町）まで郡市別25チームの選手1,650人が、わき上がる歓声のなかで熱戦を展開。長寿リレーやボール送りなどに汗を流した。スタンドではシシ踊りやトラ舞いなど各地区の郷土芸能による応援風景も見られ、彩りを添えた。



三陸鉄道株式会社 期待を胸に入社式

来年4月に開業する三陸鉄道株式会社（社長・中村知事）の新入社員入社式が10月4日県庁で行われ、新たに31人が辞令を交付された。

この日入社したのは、今年の春に高校や大学を卒業して採用が内定していた人たちで、これから社内研修を受け、約半年後の開業に備える。

辞令交付後、中村知事は「皆さんの入社は大変喜ばしい、県民の期待を十分認識して第一線で大いに活躍してほしい」と激励した。



婦人の海外研修で 初の西ドイツ訪問

昭和58年度の県婦人海外研修で西ドイツ、フランスを訪問する10人の婦人が10月6日県庁を訪れ、中村知事に出発のあいさつをした。

この事業は、本県の婦人が国際的視野をもち、婦人の社会参加活動を促進するために行われているもので今年で5回目。一行は10月18日に成田を出発、婦人の海外研修として初めて訪問する西ドイツでは、現地の家庭に宿泊し意見交換をするなど交流を深め、27日元気に帰国した。



県御所湖漕艇場で 招待ボートレース

朝から抜けるような秋晴れの青空が広がった9月25日、盛岡市と雫石町にまたがる御所湖で県立漕艇（そうてい）場完成記念の招待ボートレースが行われた。

この漕艇場は2,000m、6コースも設けられ日本有数のボートレース場で、招待されたクルーも中央大、一橋大、慶応大、東北大、北海道大と日本のトップクラス。本県の高校、大学選手も加わって、集まった観集の声援が飛び交うなか、さわやかな秋風のもとでレースが展開された。

